

会 議 録

会議名	令和5年度 第1回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和5年5月15日(月) 午前10時00分～午前11時35分		
開催場所	星が丘公民館 コミュニティ室 (Zoom と併用)		
出席者	委員	11人 (別紙のとおり)	
	その他	4人 (中央区長、中央区副区長、区政策課長、地域振興課長)	
	事務局	4人 (中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	1 開 会 2 区長あいさつ 3 役員の選出について 4 会長あいさつ 5 自己紹介 6 議 題 (1) まちづくり会議について (2) 地域活性化事業交付金について (3) 星が丘地区の課題・情報共有について (4) 星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバル について (5) その他 令和5年度まちづくり会議スケジュールについて 7 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

2 区長あいさつ

萱野区長あいさつの後、中央区役所職員の紹介を行った。

3 役員の選出について

星が丘地区まちづくり会議会則6条及び第8条により、会長1名、副会長2名を互選により選出し、次のとおり承認された。

- ・会 長 竹田幹夫 (星が丘地区自治会連合会 会長)
- ・副会長 坂本洋三 (星が丘地区社会福祉協議会 会長)
- ・副会長 後藤陽子 (星が丘公民館 館長)

4 会長あいさつ

竹田会長あいさつ

5 自己紹介

委員自己紹介

6 議 題

(1) まちづくり会議について

事務局から、まちづくり会議について、資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

特になし

(2) 地域活性化事業交付金について

事務局から、地域活性化事業交付金の対象事業や申請要件等について、資料に基づき説明した。

<主な意見、質疑>

○現在の制度では、単位自治会が行う事業は交付の対象外になっている。地区全体として事業を行うのは難しいが、単位自治会までの範囲であれば事業も行いやすいと思う。例えば、どんと焼き等のイベントを行っていない自治会でも、当該交付金を利用できれば開催の決め手になるかもしれない。規模としては小さい範囲でも活性化につながるのであれば、地域活性化事業交付金の対象にしてほしい。

⇒●社会情勢や事業の実施状況等を鑑みながら、相模原市地域活性化事業交付金交付要綱を3年ごとに見直している。庁内でワーキンググループを立ち上げているので、戴いた意見を伝えさせていただきたい。

○当該交付金は3年事業を続けられたら、持続していくという意味合いを持っていると思うが、自立に繋がった団体はなかなか少ないと思う。

⇒●初めて事業を開始する時に、手始めとして3年間地域活性化事業交付金を活用して事業を行い、4年目以降は自立して活動できることが理想である。

○3年間は全額交付、3年経ったら半額交付をする等の段階的措置があると良い。

(3) 星が丘地区の課題・情報共有について

竹田会長から星が丘地区の課題・情報共有について、資料に基づき説明した。

<主な意見、質疑>

○前回のまちづくり会議で、星が丘地区として役員の負担軽減をどうすればいいのか目標を示して欲しいとの意見が出た。理想のまちにしていくためにも、持続可能な事業・団体運営（体制）について、星が丘地区としてスローガンを作りたいと思う。例えば、まちづくり会議では、①役員を少なくする、②公募委員を増やす、③開催日の考慮、④紙の廃止などが考えられ、色々な意見を出し合って考えていきたい。

⇒○「やさしさいっぱい星が丘」という星が丘地区の将来像を第一に掲げて、その中にスローガンがあったほうが良い。また、各課題を検討するためには、部会を設けたほうが良いと思う。

⇒○部会も良いが、団体内で解決できない課題について、各種団体が集まっているこの場で検討・協力していくのが理想ではないか。公募委員は個人なので、問題提起はあまり上がってこないと思われる。

○星が丘小学校PTAでは、スクランブル交差点の検討や白線の点検について話が出ている。

○固定電話だけではなくSMSを利用した詐欺も発生している。今後も詐欺防止について取り組んでいく必要がある。

<結果>

持続可能な事業・団体運営について、今回の欠席委員にも連絡し、各委員が再度考えて、引き続き、次回のまちづくり会議で検討することとした。

(4) 星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて

竹田会長から星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて、資料に基づき説明した。

<主な意見、質疑>

- 昨年度から第一生命と市まち・みどり公社の協力を頂いている。実行委員会としては負担軽減になり、企業や団体としては宣伝効果を得られるので、今後も企業等と協力していくべきだと思う。
- 今年度は公民館が使えないため、抽選会の景品を保管できる場所がない。じゃんけん大会や大抽選会を廃止し、協賛店のお願いも廃止した方が良いと思う。
⇒○協賛金のお願いはしてもいいのではないか。
⇒○寄付を集めると負担が大きいため、先方から協賛品・協賛金を頂戴した場合には招待状を用意する等の対応で良いと思う。
- ふれあい広場は駐車場がないため、昨年と変わらず星が丘小学校で実施するのが良いと思う。
- アルコールの販売により盛り上がりは増すかもしれないが、こうしたイベントで事故等が起きている事例がある。飲酒をしていると、怪我をした場合に保険が適用されないので、アルコールの販売は難しいと思う。
- バザーは令和5年度以降行わない。代わりに、販売会などを行えたら良い。

<結果>

令和5年度の星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルの開催が決定した。

また、第1回運営委員会を以下の日程で実施することになった。

第1回運営委員会

- ・日時：6月25日（日）午後1時30分～
- ・場所：千代田7丁目自治会館

(5) その他

・令和5年度まちづくり会議スケジュールについて

竹田会長からまちづくり会議を日曜日に開催すること及び子どもセンターでの開催について提案があった。

<主な意見、質疑>

- 土曜日より日曜日の方が参加しやすい。
- 子どもセンターでZoomが利用できる環境か事務局にて確認する。
※会議終了後に事務局にて、子ども・若者支援課へ確認したところ、子どもセンターではWi-Fi環境の整備がないこと、第3日曜日は休館日であることを確認した。
また、会場の都合により、第2回まちづくり会議は以下の日程で実施することになった。

第2回まちづくり会議

- ・日時：7月16日（日）午前10時～
- ・場所：星が丘1丁目自治会館

7 閉 会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団体等	代表者氏名	団体での役職	出欠席
1	地区自治会連合会	◎竹田 幹夫	会長	出席
2	公民館	○後藤 陽子	館長	出席
3	地区社会福祉協議会	○坂本 洋三	会長	出席
4	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄	会長	出席
5	地区青少年健全育成協議会	井上 アヤ子	副会長	出席
6	地区子ども会育成連絡協議会	近藤 大助	会長	欠席
7	星が丘小学校PTA	岡本 浩三	会長	出席 (Zoom)
8	青少年指導委員	高畑 由美子	地区長	欠席
9	スポーツ推進委員	伊藤 福實	委員	出席
10	健康づくり普及員協議会	杉原 美智子	委員	出席
11	地区老人クラブ連合会	石黒 雄彦	会長	欠席
12	地域包括支援センター	柳下 恭子	センター長	出席
13	地区交通安全母の会	富倉 亜紀	会長	出席
14	消防団第4分団第4部後援会	立山 均	会長	欠席
15	相模原交通安全協会星が丘支部	岩本 義昭	支部長	欠席
16	有識者	奥山 憲雄		欠席
17	公募	杉本 千枝子		出席

※◎、○はまちづくり会議での役職（◎：会長、○：副会長）